

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市東長町児童館	
2 指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 36,890人(前年度比 126.8%) ・令和4年度 29,098人 ・令和3年度 27,123人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 64,175千円 (59,898千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定めている避難訓練等を実施していない月があった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごす生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「職員における虐待等の不適切な行為に対する対応について」を作成し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）による自己評価》
<p>【児童健全育成事業】 令和5年度はおやじの会だけではなく小学校の協力も得てもちつき大会を開催しました。児童クラブに限定することなく開催することができたため、幅広い学年に体験をしてもらうことができました。児童クラブ保護者の申し出を受け、健全育成イベントとしておやこ運動整体を開催しました。楽しく遊びながら体を整えることができ、利用市民の活躍の場を創出できました。</p> <p>【子育て家庭支援事業】 転入出の多い地域の特性を活かし、仙台に引っ越してきた方を対象に杜の都仙台へようこそウェルカムパーティを開催しました。東長町地域のおすすめお菓子を用意したり、手形プラバンを作成したり乳幼児保護者同士の交流につなげることができました。登録制の幼児クラブマーチっこクラブを行いました。1年間通して同じメンバーで活動することでそれぞれの成長を保護者だけではなくお友達同士も感じることができました。</p> <p>【地域交流推進事業】 地域誰でも集えるイベントとしてございん茶屋を開催しました。地域の高齢者や乳幼児保護者とお茶を飲みながら東長町地域の昔の話を聞いたり、児童館の活動報告を行う等世代間を超えた交流の場を作り出すことができました。近隣の商業施設テクテ長町の協力を得て空きスペースに放課後児童クラブの子どもたちの作品展示をさせていただきました。作品は季節ごとにテーマが異なり、好評を得ていました。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】 児童クラブの活動に1年間継続的にJUMP-JAMを取り入れました。児童館の大きな特色である選択性を重視して、子どもたちが自分で参加の可否を決めながら楽しく体を動かすことができました。日々の活動の中で様々な季節の工作を取り入れました。制作した工作は一定期間館内の装飾として飾り、最後は制作した児童クラブのお土産としました。自分の作った作品が飾られることに子どもたちはとても喜んでいました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>健全育成事業においては、近隣の方の指導のもと、令和5年度から新たに「ニュースポーツ体験会」を開催し、ディスコン、ポッチャを月変わりで実施している。申込制ではあるが、興味を持った時に参加できるよう当日の受付も可能とするなど環境を整えることで、ニュースポーツへの関心が高まっており、自由来館のきっかけや利用者の増加に繋がっている。中高生世代への支援として、専用タイムを設け用具を提供することで、年間100名を超える利用があり、居場所の一つとなっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、子育て支援クラブコスモスさんの「おはなしBOX」は乳幼児親子に人気の行事となっている。令和4年度に好評だった「ウェルカムパーティ」を、令和5年度は春秋に実施した。歩いて行ける地域のお店の紹介や仙台の地名や方言をクイズ方式で出題して地域への関心を高める工夫、保護者同士のフリートークの時間を設け交流の機会を提供するなど、地域で安心して子育てができる支援を行っている。</p> <p>地域交流推進事業においては、「東長町おやじの会」との共催で、小学校や子育て支援クラブ、児童クラブ保護者の協力を得て「餅つき会」を再開した。また、「ニュースポーツ体験会」「きらりんタイム」「親子運動整体」等を、地域の方を講師として実施するなど、地域の方の指導を受けて活動する場が豊富にあり、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、マンカラは日常的に子ども達の人気の遊びであることから、「マンカラ大会」を年間通して定期的実施し恒例となっている。「マンカラ大会」に向けて日々の活動の中でマンカラを選択して遊ぶ子どもも多く、対戦する中で子ども同士の交流が広がっており、自主性や社会性の育ちに繋がっている。サテライトの環境を考慮して、夕方に運動遊びの時間を週2～3回取り入れたり、「瓶蓋塔状積み上げ選手権」としてボトルキャップの積み上げ大会を企画開催するなど、様々な工夫をしながら心身の健全育成に努めている。児童クラブ保護者会資料において、児童館の4つの事業について記載し、児童館事業の認知向上に努めている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課